

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境清掃部一般管理				整理番号	653	枝番号			
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3703	昨年度 整理番号	672	昨年度 枝番号	
係名		庶務係		上位施策名				No			
予算事業名		環境清掃部一般管理		コード	65100	環境施策の枠組みづくり				16	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		5年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		環境清掃部内職員		根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		職務上必要な出張時の旅費等の費用弁償 業務上必要な事務用品類の購入及び事務機の保守等 部内各課の連絡調整				(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並区職員の旅費に関する条例 (3)				
	活動指標名(式)		(1) 環境清掃部内職員数 (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境清掃部内事業の円滑な運営				
								成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 予算執行率 (2)	

区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
			計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	人	362	354	354	345	345	338		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	64.0	100.0	54.3	100.0	61.3	100.0		
	成果指標(2)									
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	2,561	4,154	2,257	4,158	2,551	3,862	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円								
	(内) 委託費	千円				146	146	146		
	職員数(常勤 非常勤)	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	13,650	13,590	13,590	13,590	13,590	13,590	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +	千円	16,211	17,744	15,847	17,748	16,141	17,452		
	単位あたりコスト(-)÷	円	44,782	50,124	44,766	51,443	46,786	51,633		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0	
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	16,211	17,744	15,847	17,748	16,141	17,452		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	出張時の旅費等				1,047
	再生紙購入				460
	事務機リース代・消耗品購入等				897
	事務機の保守委託				147
	その他 ()				0

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 653 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	61.4
		旅費が増加し全体としては執行率が上昇しているものの、節減努力(必要最小限の品目の購入等)を心がけた結果、再生紙等の使用実績は減少した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度に未執行だった職員事務費については、18年度からは予算計上していない。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度に清掃事業が移管され、組織改正により職員数が大幅に増加したため予算額(旅費)が増額した。平成14年度からは、用品会計の廃止に伴い再生紙を部で一括購入することとなったため、予算額(需用費)が増加した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	全職員にパソコンが設置され情報伝達及び提出書類のペーパーレス化が推進されるが、一方で情報量が増加し電子複写機、プリンタへの機能依存が高まる。今後は、書類のペーパーレス化及び紙類の再使用をさらに進めていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:環境清掃部の業務を円滑に遂行していくために必要である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:再生紙の裏紙使用の徹底(用紙使用量の削減のためISOの行動内容を徹底する)。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:部内職員のための経費なので受益者負担には該当しない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:再生紙購入予算等、決算執行率の低い項目については、19年度より実態に合わせた予算編成とした。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題:組織全体で見ると、「部一般管理」予算に旅費に係る予算がある。職員給与の支払い等の事務が外部に委託されれば、旅費もその範疇となりうる。その場合は、全庁的に考えれば委託という形で協働が考えられる。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 伝達系の会議はメールの活用等により縮減を図る。電子複写機の使用については情報量が増大し増加が見込まれるが、コストについてはISOの環境マネジメントシステムによる裏紙使用等のルール徹底を行い、削減に向け実施する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民等への情報公開制度に直結する可能性のある文書や意思決定過程の途中にある文書については、用紙の裏面再利用ができない。それ以外の用紙については裏面再利用を徹底する。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 再生紙の購入や事務用品購入に係る予算を精査し、現実にあわせた予算執行を行っていく。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			環境博覧会開催					整理番号	654	枝番号		
担当部課名			環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3398-3195	昨年度 整理番号	673	昨年度 枝番号	
係名			環境活動担当		上位施策名					No		
予算事業名			環境先進都市の創造		コード	65500	環境施策の枠組みづくり					16
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		13 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 1 政策番号 3 施策番号 2 事業コード 8				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 全ての区民、団体、企業				根拠法令等 (1) 「杉並区21世紀ビジョン」推進プラン (2) 環境基本計画 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			高井戸地域区民センターを会場に、毎年10月に開催。区民、環境団体、企業、行政が協働して環境への理解を深め、日常生活や活動に結びつく多彩な企画からなる環境配慮行動啓発イベントとして開催する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境配慮行動の必要性と重要性を理解して行動する。				
	活動指標名(式)			(1) 環境博覧会来場者数 (2) 出展・協力団体数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 環境博覧会来場者数 (来場者数 / 区人口) (2) (代) 出展・協力団体数				
指標	区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)		人	15,818	20,000	14,721	20,000	15,188	20,000	20,000	75.9	
	活動指標(2)		団体	134	130	128	130	127	130			
	成果指標(1)		%	3.01	3.81	2.80	3.81	2.90	3.83	3.83	75.7	
	成果指標(2)		団体	134	130	128	130	127	130			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	9,989	10,000	9,997	10,000	9,998	10,000	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数 (常勤 非常勤)		人	3.12	3.10	2.75	2.10 0.50	2.30 0.28	2.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	28,392	28,086	24,915	19,026	20,838	18,120		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	1,415	792	0		
	総事業費 ++		千円	38,381	38,086	34,912	30,441	31,628	28,120			
	単位あたりコスト(-)÷		円	2,426	1,904	2,372	1,522	2,082	1,406			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	38,381	38,086	34,912	30,441	31,628	28,120				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			環境博覧会開催(ポストイベント開催)					3	日	9,998		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 654 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	75.9	活動指標(2)の 18年度達成率%	97.7	18年度予算 執行率%	100.0
		出展・企画経費は、企業、団体の協力によって負担してもらうなど、経費面についても役割分担による協働を進めている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		環境博覧会の企画運営をさらに区民、民間団体主導のものへとするため、作業部会の運営等、役割分担の明確化を図った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成13年度に第1回目の開催から本年度で7回目となるが、平成14年度(第2回)には、杉並環境フェア2003・第8回リサイクル・アイデア作品展との共催し、国際フォーラムを中心に開催した。平成15年度(第3回)より区民、環境団体、企業との協働をさらに進め企画立案段階から多くの区民・環境団体等が参加し、環境博覧会を運営している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	企画・内容及び規模とも大変充実したものであるとの評価を、来場者、協力団体等から受けている。					
	今後の予測	環境への配慮の必要性和重要性について、これまで以上に理解され高揚していくことが予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:環境配慮理念の共有化や協働意識の醸成を促進する事業であり、環境先進都市すぎなみの実現に向けて、大きく貢献するものである。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:来場者数の増加が見込める出展・企画の実施。また、来場者により環境配慮行動の必要性和重要性を感じ取れるか精査・吟味する。さらに、地域での環境配慮への取り組みの発表など、地域からの盛り上がりを促していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:参加企業等から設営に係る経費を出展料として徴収している。また、参加団体等の展示物等の経費は、それぞれが負担している。すでに相応分の負担が行われている。本事業は、来場者から入場料を徴収する性格のイベントではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:環境博覧会全体のコーディネートを請け負える核となる団体、事業者、NPO等の発掘を行い、民間に事業を移行する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 環境博覧会すぎなみ実行委員会を年4回程度開催。同作業部会を年6回程度開催し、区民、環境団体、企業とともに企画・運営を行っている。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民、環境団体、企業で構成される実行委員会が、実質的に環境博覧会の企画・運営ができるようにさらに進める。また、会場の変更や規模等についても検討する。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 環境博覧会を運営できる核となる団体等の発掘が困難である。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			環境保全対策の推進					整理番号	655	枝番号		
担当部課名			環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3703	昨年度 整理番号	674	昨年度 枝番号	
係名			庶務係		上位施策名					No		
予算事業名			環境保全の推進		コード	65900	環境施策の枠組みづくり			16		
事務事業の概要	事業開始年度			<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		45 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区環境基本条例 (2) 杉並区環境基本計画 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			環境基本計画進捗状況調査及び環境白書の発行。 環境保全意識の普及啓発の手段としての環境パネル展の開催。								
	活動指標名(式)			(1) 環境白書(資料編)の発行部数 (2) パネル展開催回数		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民全体に対する環境問題の意識啓発とその高揚。						
成果指標名(式)			(1) (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (2)							
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)		部	800	1,000	1,000	500	500	1,000			
	活動指標(2)		回	3	3	3	3	3	3			
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	565	2,132	1,716	924	695	1,286	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	9,100	9,060	9,060	9,060	9,060	9,060		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	9,665	11,192	10,776	9,984	9,755	10,346			
	単位あたりコスト(-)÷		円	12,081	11,192	10,776	19,968	19,510	10,346			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	9,665	11,192	10,776	9,984	9,755	10,346				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)		
			環境白書(資料編)の作成及び本編の印刷					600	冊	502		
			パネル展の開催					3	回	149		
			管理事務等							44		
			その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 655 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	75.2
	パネル展については、平成18年6月の環境月間に関する展示、18年10月の「環境博覧会」、19年2月にセッション杉並にて「ポスト環博」を開催した際にパネル展示を開催した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成18年度のパネル展の予算については、平成17年度に老朽化したパネルの買い替えが完了したため、対前年度比3分の1に削減した。 地球温暖化が大きな問題となる中、「打ち水」を区報で周知し、二次利用水(雨水貯留水など)がある施設で一斉に打ち水を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	環境・公害に対する区民の意識は、身近な環境問題から地球規模の環境問題にまで至っているため、啓発内容を時代の変化に合わせて変えてきた。なお、環境基本計画については、毎年度進捗状況調査結果を公表し施策の推進に活かしている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	環境講座等により環境分野の、より幅広い啓発活動が求められている。				
	今後の予測	すぎなみ環境情報館を活動拠点とした啓発活動や、環境基本計画改定等時代に即した動きが大きくなっていくであろうと予想される。				
事業のあり方 点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:環境白書は環境に関するデータを多く掲載しているため、さまざまな場面で利用されている。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:パネル展をより多くの区民に見てもらえるように、さまざまな内容のパネル展にする。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:環境白書は区内の環境の現状と課題を区民に報告するものであるため、無料配布が望ましいと考える。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:環境白書の編集方針の検討、印刷の方法等を考慮すると、コストを下げるのは厳しい。				
協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(今後可能性あり)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input checked="" type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄	
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 国や都、区の施策についての周知を行う場合は行政直轄となるが、環境問題のパネル展そのものはNPOなどの団体でも可能である。今後は、これらの点について研究していく。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 環境基本計画の達成に向けて、進捗状況等を区民にわかりやすい内容の報告書の作成について検討していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	多くの区民の目に触れることのできるパネル展示や、16年度より開始した庁内外での打ち水、区の事業の報告である環境白書の発行を継続して実施していくことで、区民の環境に関する意識の向上を期待する。また、予算面では、開催回数が増ただけではなく、内容についても検討し、より充実したものになるよう努める。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境清掃審議会運営					整理番号	663	枝番号		
担当部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先 電話番号	3703	昨年度 整理番号	682	昨年度 枝番号	
係名		庶務係		上位施策名				No			
予算事業名		環境清掃審議会運営		コード	65300	環境施策の枠組みづくり				16	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 環境基本法 (2) 杉並区環境清掃審議会条例 (3) 杉並区環境清掃審議会条例施行規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の附属機関として、区の環境保全並びに廃棄物の適正な処理及び再利用の促進に関して必要な事項を調査審議する。								
	活動指標名(式)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 環境清掃審議会の開催回数 (2) 審議・報告案件数								
事業の種別		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等					
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 環境基本法 (2) 杉並区環境清掃審議会条例 (3) 杉並区環境清掃審議会条例施行規則							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の附属機関として、区の環境保全並びに廃棄物の適正な処理及び再利用の促進に関して必要な事項を調査審議する。									
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 委員の出席率 (2)									
区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%		
			計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	回	6	6	6	7	8	8			
	活動指標(2)	件	36	40	48	50	40	40			
	成果指標(1)	%	90	100	83	100	83	100			
	成果指標(2)										
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	1,823	3,562	1,673	3,562	2,347	3,503	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.90	1.38	1.38	1.38	1.00	1.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,190	12,503	12,503	12,503	9,060		9,060	
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		0	
	総事業費 + +	千円	10,013	16,065	14,176	16,065	11,407	12,563			
	単位あたりコスト(-)÷	円	1,668,833	2,677,500	2,362,667	2,295,000	1,425,875	1,570,375			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	10,013	16,065	14,176	16,065	11,407	12,563			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容						規模	単位	事業費(千円)		
	審議会委員報酬						147	人	1,764		
	審議会運営事務費								583		
	その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 663 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	114.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	80.0	18年度予算 執行率%	65.9
		年度当初、審議会に対する諮問については部会設置(6回)を予定していたが、年度途中に行われた外環道に関する諮問については短期間(9月に2回)で審議したため、残額が出た。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区の環境清掃行政を進める上での重要な課題について諮問を受け、調査・審議を行い区長に答申する。多方面からの意見を区政運営に反映させていくための重要な審議会であるが、審議会運営のより一層の活性化を図るため、審議会委員の改選時には随時委員の構成についての見直しを行っていくとともに、環境基本計画及び一般廃棄物処理基本計画を実効性のあるものとするための検討を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成8年に策定した「環境基本計画」を平成15年に改定した際には、審議会に部会を設置し、環境基本計画のあり方についての答申を出すなど、改定に重要な役割を果たした。今後も環境先進都市を目指す杉並区のさまざまな課題への取り組みを推進する役割を担っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	近年、区民の意見・要望・苦情は、迷惑行為の防止や近隣公害の解決、環境美化の推進に関するものが多くなってきている。21世紀を迎え、区民の環境清掃問題に関する関心はますます高まりを見せている。					
	今後の予測	環境基本計画や一般廃棄物処理基本計画の見直し等、今後審議会が関わる案件は非常に多い。その他、外かく環状線の環境影響評価が実施され、環境に及ぼす影響についても関心が高いところで、様々な課題に関しての審議会の果たす役割は今後も区政にとって大きな意味を持つこととなる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の環境清掃に関する施策を進める上で、重要な課題を審議している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 報告案件を調整し、重要な審議事項については、十分な時間(開催回数)を設けて議論する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 事業の意図は、区全体の環境保全や快適環境の維持を目的としているものであり、特定の個人や団体に受益が偏るものではない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 条例設置の附属機関で報酬額が定まっているためコスト減にはならない。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 環境清掃行政に係る区長の附属機関として、区内の環境清掃関係団体及び個人の方々に委員を構成する。各種環境団体等からの推薦を受け、委員を委嘱している。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか)に 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区の環境清掃行政を進める上で重要な課題の諮問を受け、調査審議を行って多方面からの意見を区政運営に反映させていく重要な役割を担っている。また、審議会運営の活性化を図るため、改選時には可能な限り委員の構成についての見直しを行っていくとともに、今後は環境基本計画及び改定び一般廃棄物処理基本計画を実効性のあるものとするための検討を行う。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 今後の環境清掃行政における大きな課題(杉並区環境基本計画の見直しや容器包装プラスチック中間処理施設など)については、専門部会の設置が予想されるため、部会開催についての予算が必要となる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並環境マップ			整理番号	683	枝番号				
担当部課名	環境清掃部環境課	コード	230101	連絡先 電話番号	3398-3195		703	昨年度 枝番号			
係名	地球温暖化対策担当	上位施策名			No						
予算事業名	環境配慮行動の拡充	コード	65760	環境施策の枠組みづくり			16				
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	15 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(3)	施策番号	事業コード	6
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 全ての区民および国民				根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	紙ベースで蓄積していた有害化学物質発生状況、動植物生息状況など、区の環境情報をデータ化し、インターネットで広く区民および国民に提供する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民自ら取組む環境配慮行動の一助となる。					
	活動指標名(式)	(1) 目次項目数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代)アクセス数 (2)					
指標	区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
	活動指標(1)	頁	17	17	17	17	17	17	20	85.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	回	17,632	20,000	8,392	20,000	8,118	20,000	20,000	40.6	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	300	300	873	872	300	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円		300	300	873	872	300			
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	906	906	906	906	906		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	1,206	1,206	1,779	1,778	1,206			
	単位あたりコスト(-)÷	円	0	70,941	70,941	104,647	104,588	70,941			
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	0	1,206	1,206	1,779	1,778	1,206			
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	データ整備(委託等)					872					
	その他 ()					0					

